

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1060	指導者育成事業	01	01	一般会計
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	101	101	教育費
			05	05	社会教育費
			03	03	同和教育費
担当部課名		いがまち人権センター	101	101	指導者育成経費
作成者氏名	山下 豊	連絡先	45-4482	01	指導者育成経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	同和地区住民及び市民	人権・同和教育に関する指導者の育成を図り、地域内を中心とした、人権・同和教育の確立ができる。				
本年度事業内容	社会同和教育指導員を配置し市民を対象とした地区別懇談会・地区を対象とした識字学級・中・高校生友の会等の指導助言、相談、並びに広く市民に人権意識の向上を図るためこれらの講座等を通して指導者としての育成に努める。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,805	2,805	2,805
	報酬	2,400	2,400	2,400
	その他	405	405	405
合計(A+B)		4,245	4,245	4,245
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	4,245	4,245	4,245
上記①～③に関する特記事項				
社会同和教育指導員 1名				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
講座等の参加延べ人数(市民を対象とした地区別懇談会・地区を対象とした識字教室・新風世代(人権劇)・中学生友の会・高校生友の会)	人	3642	4006	4406			
識字教室開催回数	回	50	50	50			
人権問題地区別懇談会開催回数	回	49	49	49			
新風世代(人権劇)開催回数	回	18	18	18			
中学生友の会開催回数	回	36	36	36			
高校生友の会開催回数	回	36	36	36			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
講座等参加者数	地域住民やすべての住民が講座等に参加することにより人権意識の向上が高まり完全解放につながる考えから参加者数を指標とした。	人	3642	4006	4406
			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

ある教室においては、高齢に伴い参加者が参加しにくい状況がある。教室の取り組み方法や日程等を精査し、継続して行う。
--

評価	必要性	4	各種教室等事業を通じ地区内小・中学校の低学力化の克服を図るため継続して実施する。また、部落差別が現存している以上、各種講座、教室においての人権啓発、人権教育の推進を図るための指導助言が必要で今後も継続して実施する。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		